

# きたかみの 未来を創る

# 教育のあり方

## 地域説明会

開会

概要説明

質疑応答

閉会



# きたかみの 未来を創る 教育のあり方

## 概要説明

本日お伝えすること

なぜ、今？

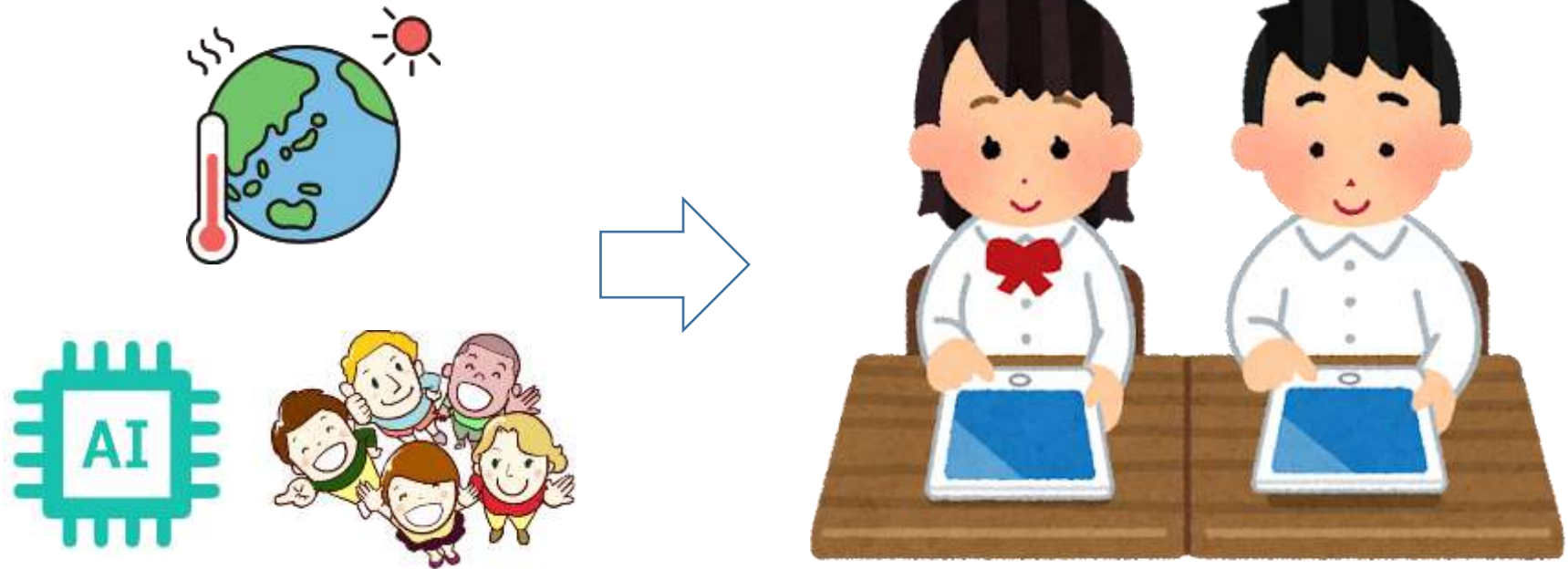
きたかみの未来を創る  
教育のあり方

なぜ、今？

変化 I

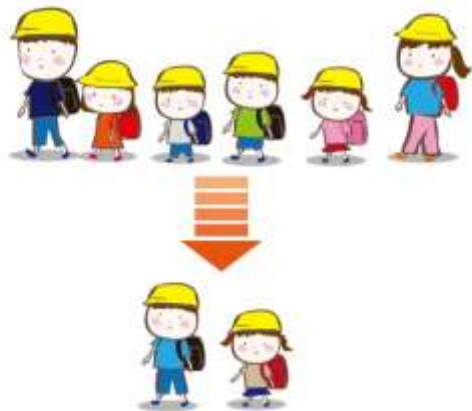
求められる  
教育の変化

# 変化の時代、学校の学びも変化

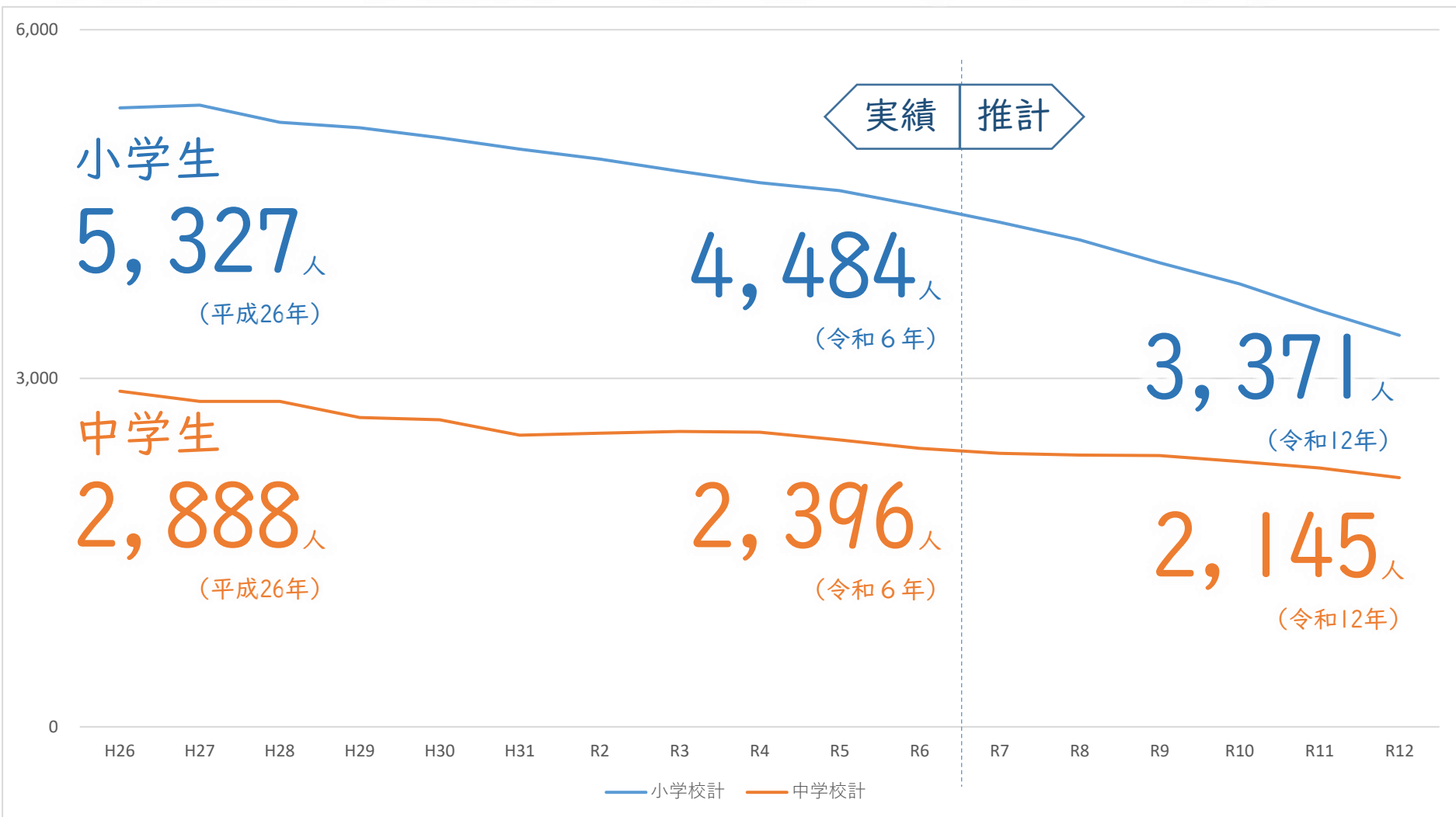


# 変化2

# 児童生徒数の減少



# 児童生徒数の推移（北上市）





# 対応策 ~令和5年度~

# 北上の教育の あり方を検討

# 「きたかみの未来を創る教育のあり方」

令和6年3月11日  
提言提出



田代委員長

平野前教育長

# 本文 全16頁

# 概要版 全4頁

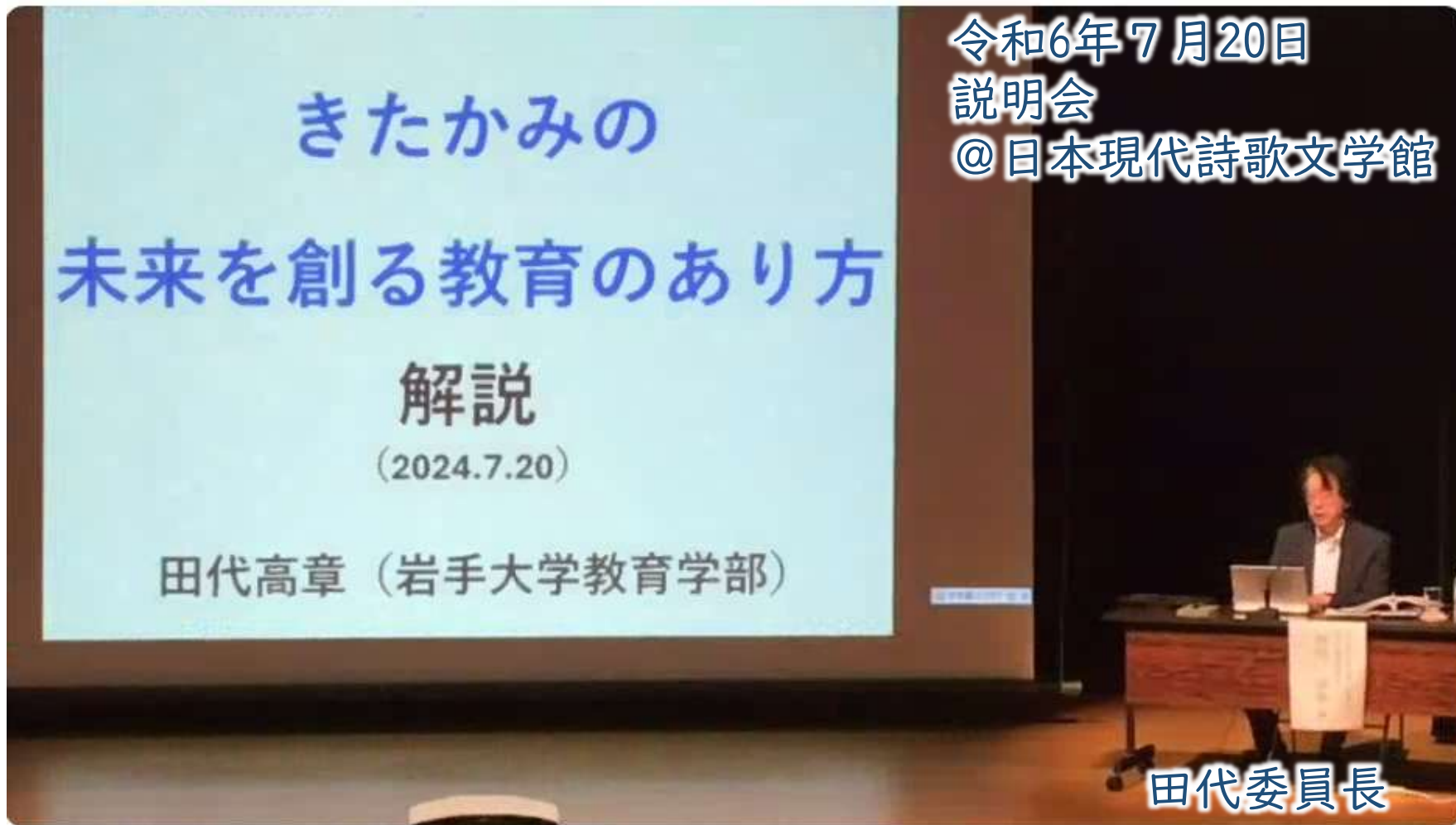
きたかみの 未来を創る 教育のあり方

令和6年3月

北上市立学校適正配置の在り方検討委員会



# YouTube動画



きたかみの未来を創る教育のあり方説明会\_解説

# 目次

はじめに

第1 北上市教育の目指す姿

第2 市立小中学校の状況

第3 望ましい学校環境

第4 望ましい学校環境と  
する上での留意点

きたかみの 未来を創る 教育のあり方

令和6年3月  
北上市立学校適正配置の在り方検討委員会

# はじめに

## 先行きが不透明な時代

- ・求められる「資質・能力（≡生きる力）」が変化
- ・OECDの考えを取り入れる

- ・成年年齢の引き下げ
- ・「こども基本法」制定

「持続可能な社会の  
創り手」

「**子どもの最善の利益**」  
を最優先

「教育の機会均等」 「教育における公平・公正の実現」  
「多様性の尊重」 「包摂性の確保」

→これらに資する**教育の在り方**を示す

01

# 北上市教育の目指す姿

- 1 変化の時代
- 2 北上市教育の目指す姿



# 変化の時代

新たな社会  
“Society 5.0”

5.0



4.0



Society 4.0 情報

(内閣府作成)

V

・ 変動制

U

・ 不確実性

C

・ 複雑性

A

・ 曖昧性



# 「知識基盤社会」

- (1) 知識に国境がなく、グローバル化が一層進む。
- (2) 知識は日進月歩であり、競争と技術革新が絶え間なく生まれる。
- (3) 知識の進展は旧来のパラダイムの転換を伴うことが多く、幅広い知識と柔軟な思考力に基づく判断が一層重要になる。
- (4) 性別や年齢を問わず参画することが促進をされる。

出典：「我が国の高等教育の将来像」（答申）（平成17年1月28日、中央教育審議会）

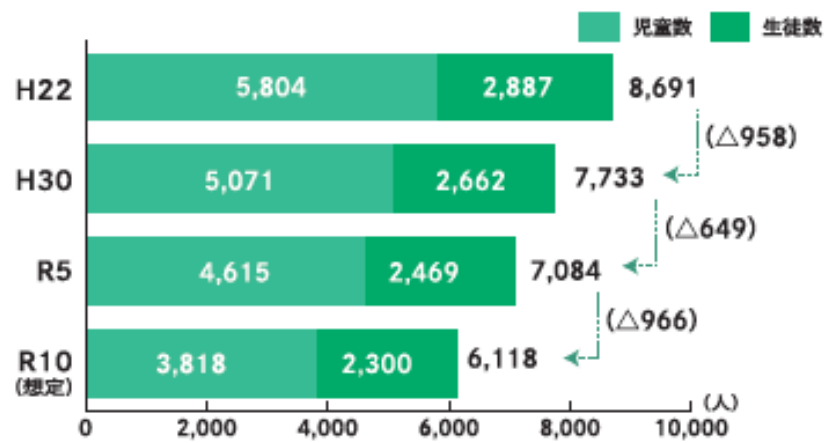
# 北上市教育振興基本計画基本目標

「未来に向かい  
自ら学び  
地域を互いに  
支える人づくり」

## 02

## 市立小中学校の状況

- 1 北上市の人口の推移
- 2 児童・生徒数の推移
- 3 学校施設の状況

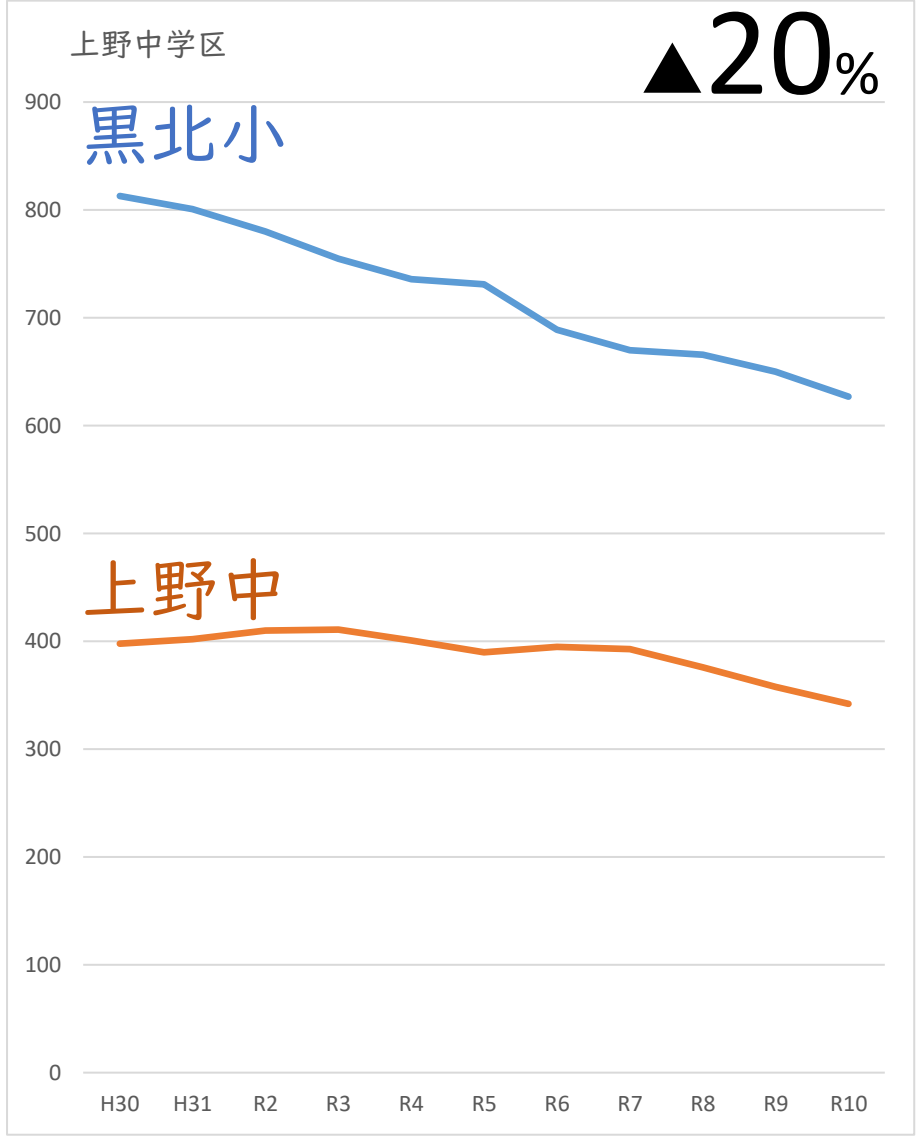


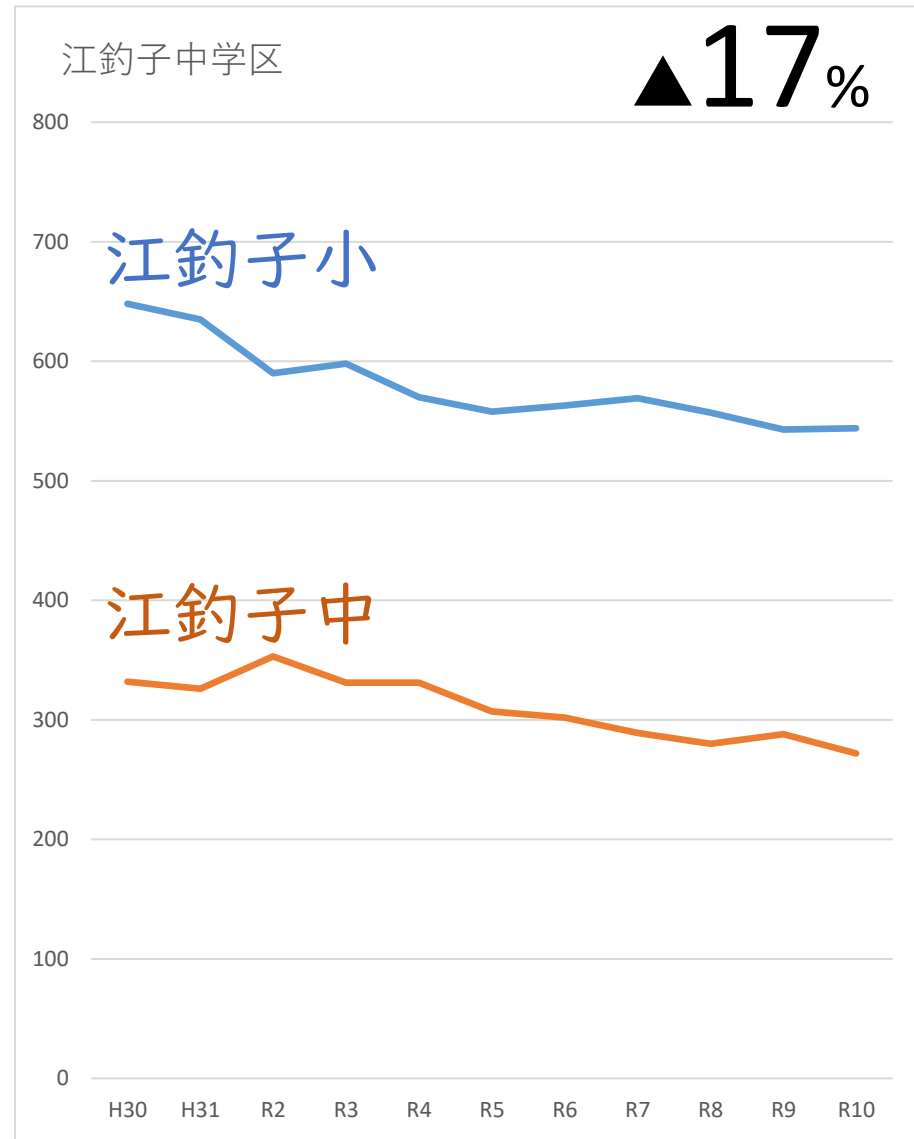
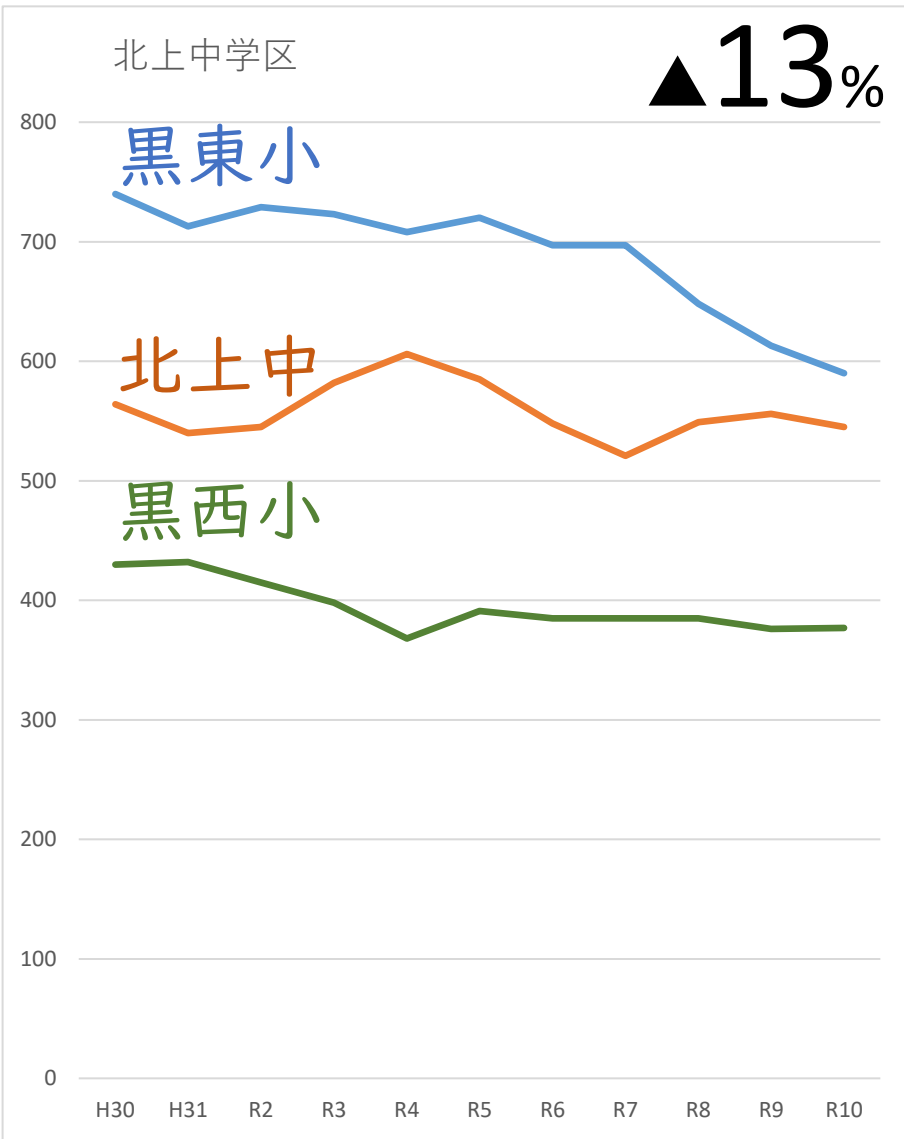
【グラフ 児童生徒数推移 (人)】

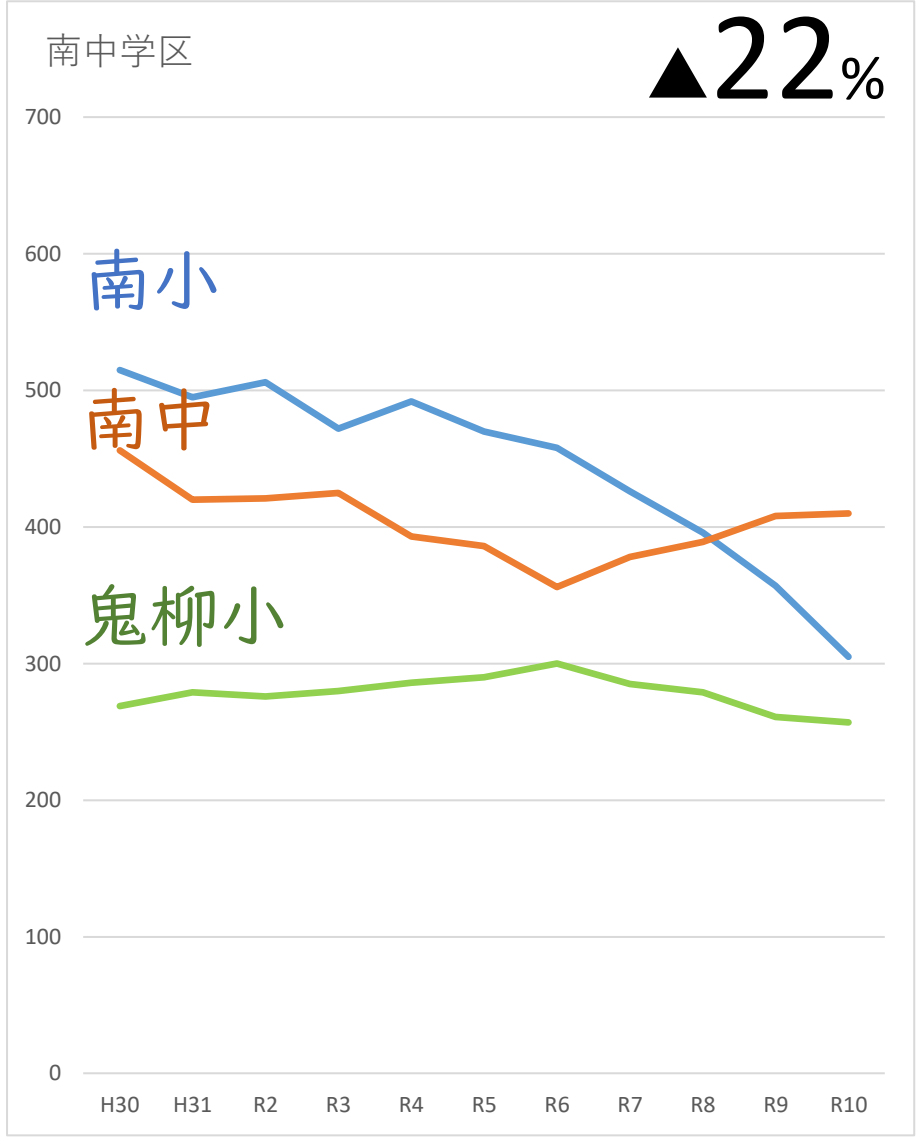
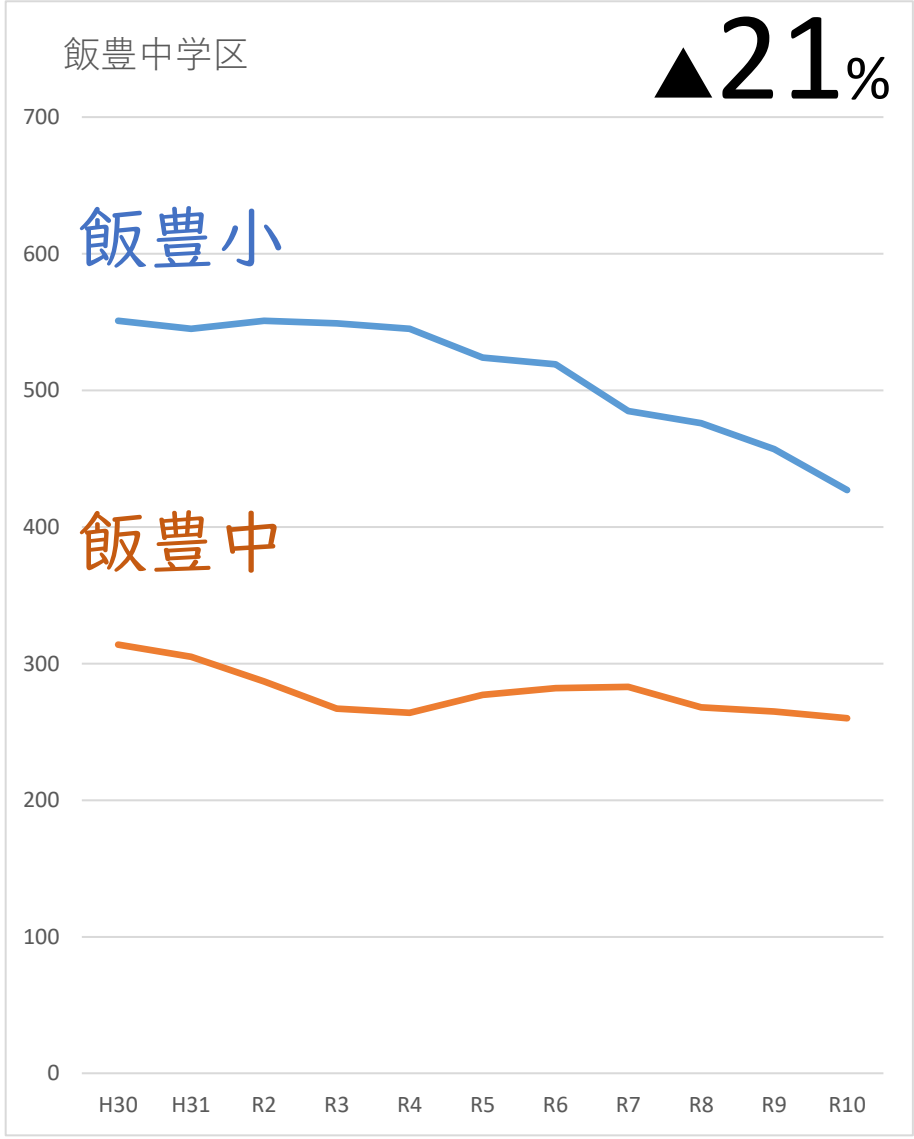
※R10想定は、学校教育課提供「令和6年度以降の児童生徒数調べ」から作成

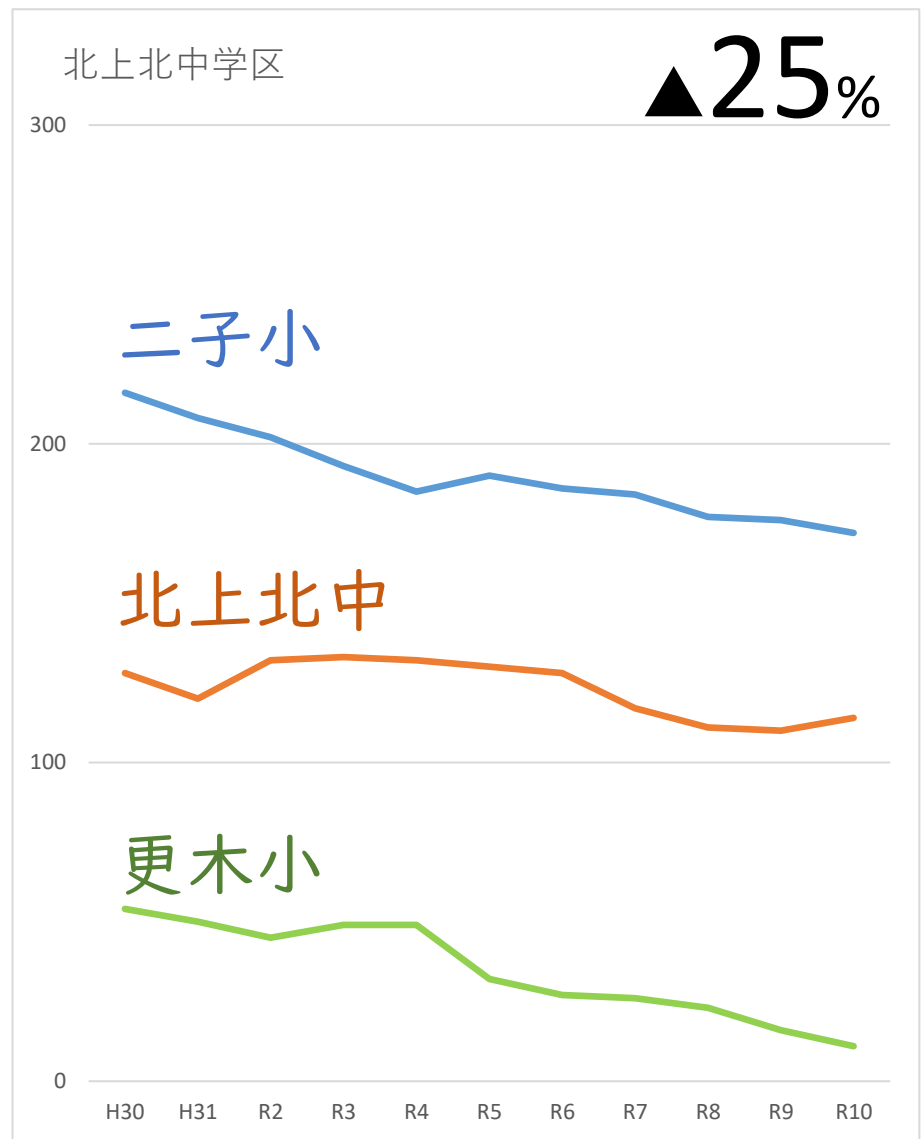
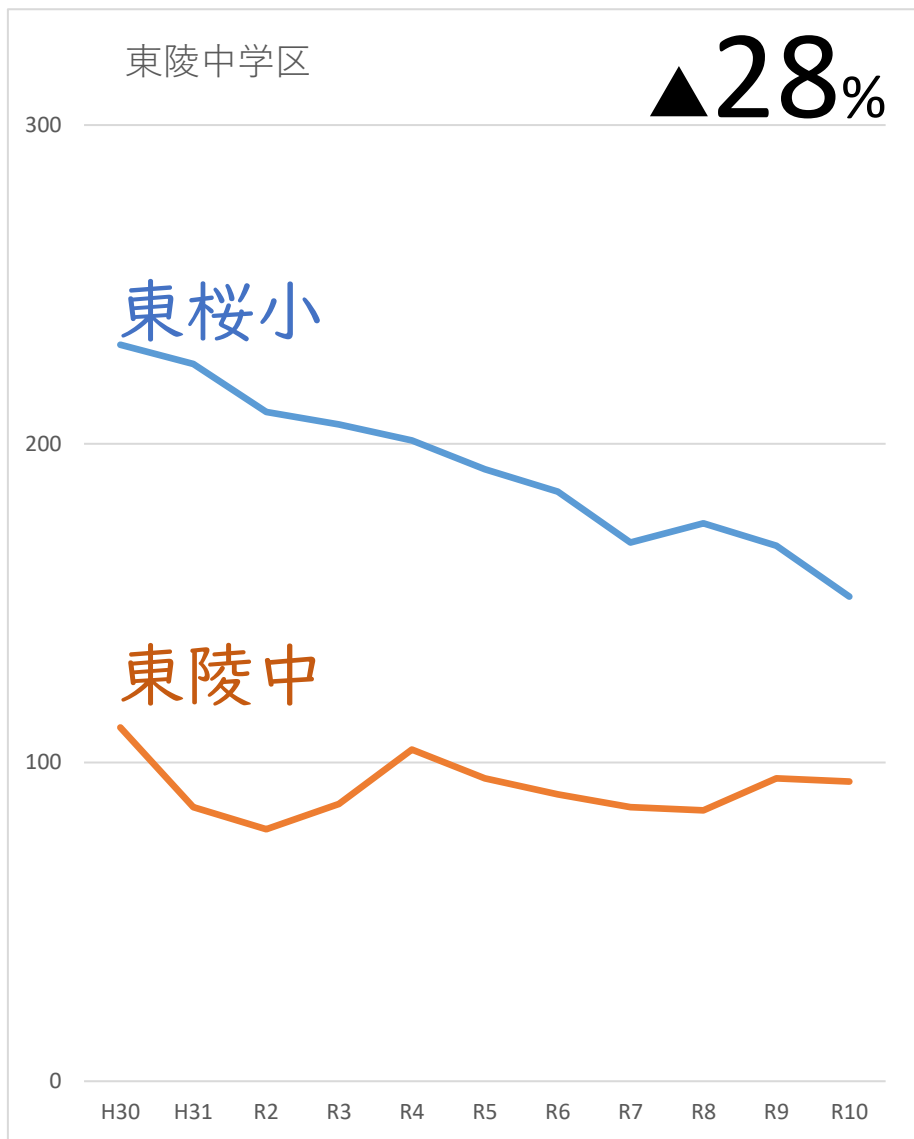
# 児童生徒数推移（中学校区 1/5） ※R7~10は出生数からの推計値

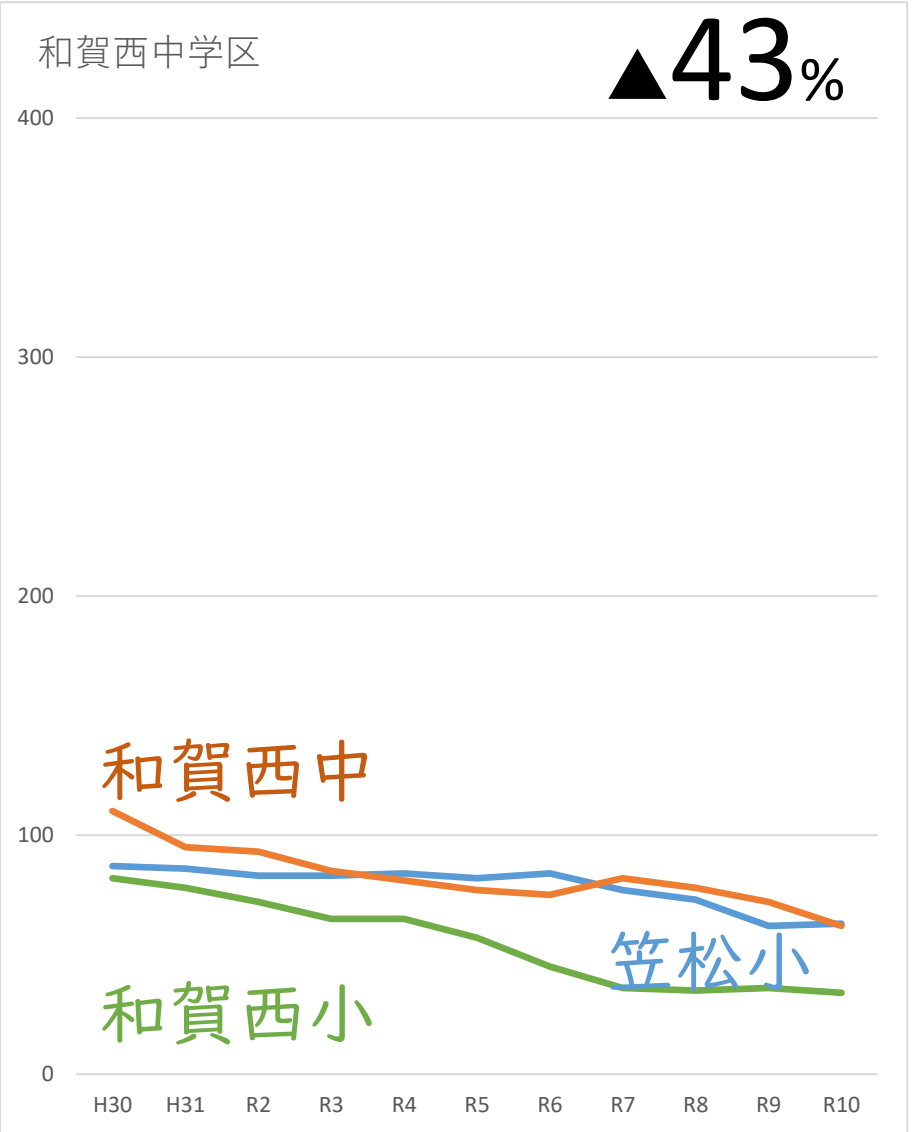
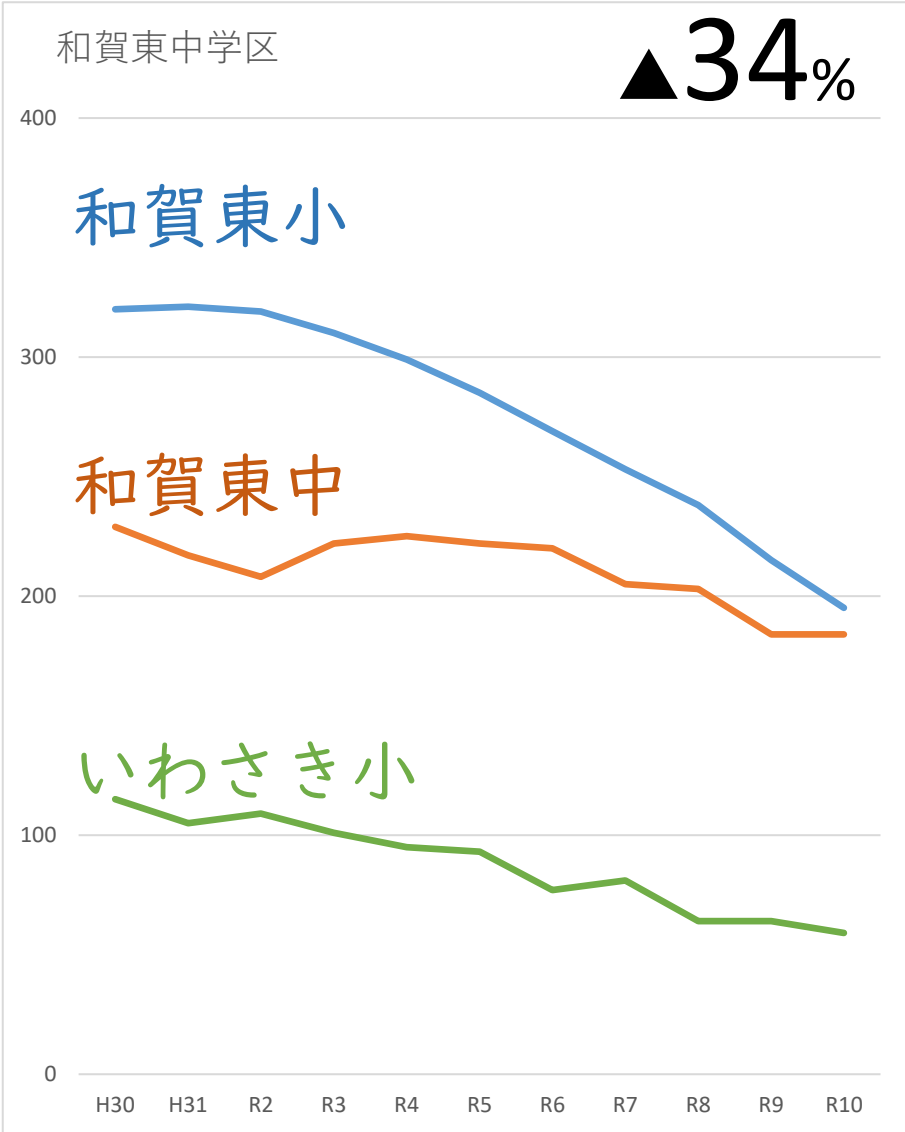
H30からR10までの減少幅 ※小数点以下四捨五入









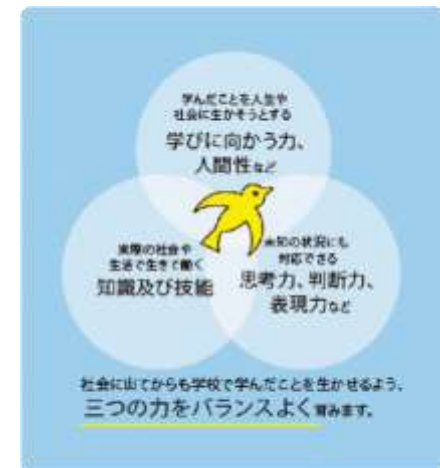




# 03

## 望ましい学校環境

- 1 これからの子ども達に求められる  
資質・能力
- 2 教育環境によるメリット・デメリット
- 3 望ましい学校環境



# 教育の目的 (教育基本法第1条の構造)

人格の完成

自ら考え、  
判断し、  
他者と関わり  
つつ行動し、  
社会を創り出  
すことができる力

国家・社会の発展に  
貢献する人材育成  
(社会適応・社会創造)

個々人の自己実現  
(自己創造)

# 教育の社会的機能

国家・社会の発展に  
貢献する人材育成

自ら考え、  
判断し、  
他者と関わり  
つつ行動し、  
社会を創り出  
すことができる力

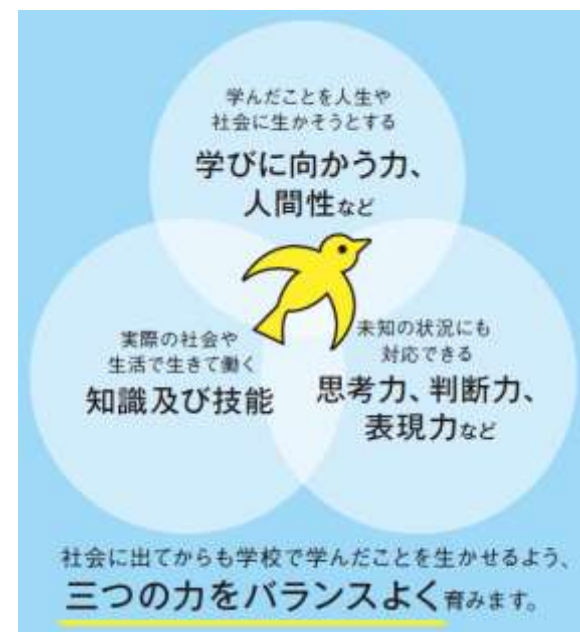
未知なる社会へと**発展**していく

↓  
社会適応

社会創造 ↑

# 1. これからの子ども達に求められる資質・能力

- ・ 変化の激しい時代に生き抜く
- ・ 子ども達に身に付けさせたい  
資質・能力



# 育成すべき資質・能力の三つの柱

学んだことを人生や  
社会に生かそうとする

学びに向かう力、  
人間性など



実際の社会や  
生活で生きて働く

知識及び技能

未知の状況にも  
対応できる

思考力、判断力、  
表現力など

社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、  
三つの力をバランスよく育みます。

非認知的  
能力

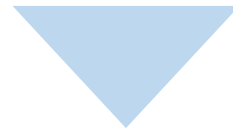
認知的  
能力

「どのように学ぶか」

「主体的な学び」

「対話的な学び」

「深い学び」



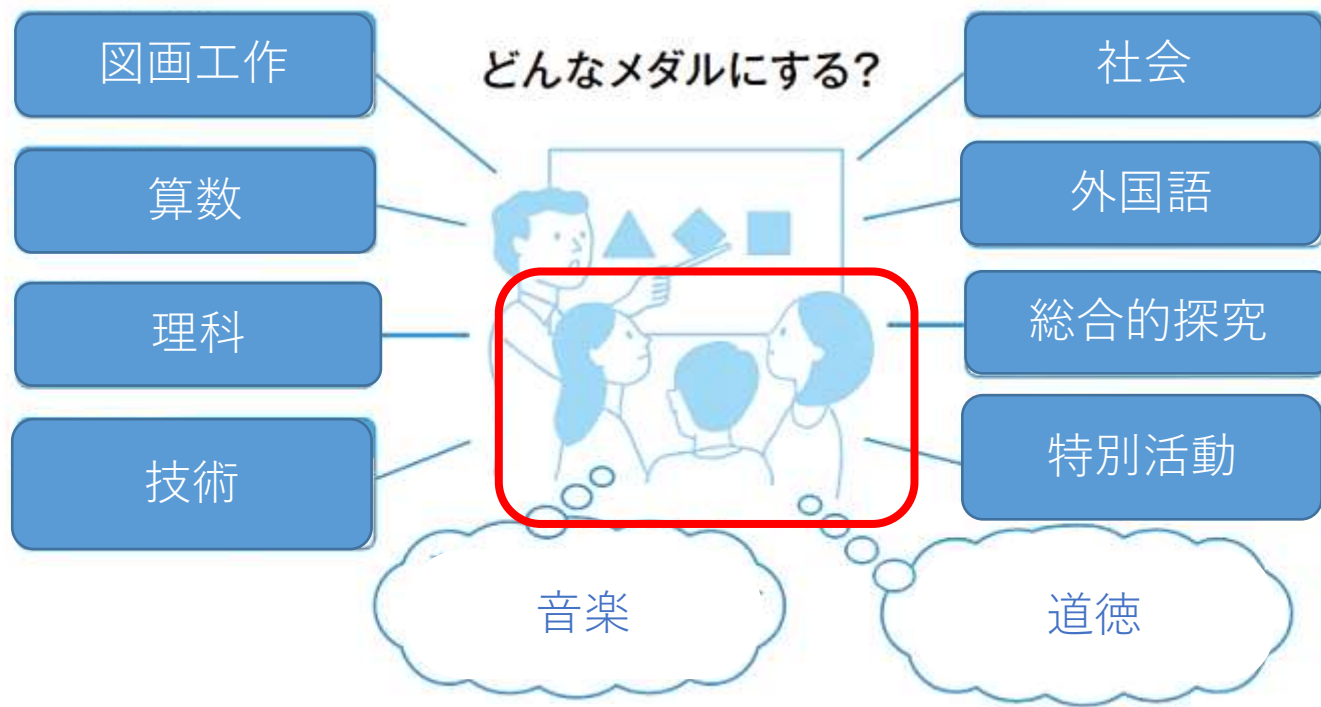
「アクティブ・ラーニング」

# 学びを人生に生かすために



同じ物事でも、  
教科ごとに多様な捉え方をします。

例えば、「オリンピック・パラリンピックのメダルづくり」というテーマで考えてみると...



国語

出典：文部科学省資料

## 2. 教育環境によるメリット・デメリット

- ・ 学級数が少ないことのデメリット
- ・ デメリット解消の手法  
学校の統廃合、  
小中一貫型小学校・中学校  
義務教育学校  
通学区域の変更





# 望ましい学校環境

## 人格の完成

- ①自己創造
  - ②社会適応・社会創造
- ※教育基本法第1条

## ウェルビーイング

- ①個人的側面
  - ②社会的側面
- ※OECDに示す教育の目的

## 望ましい学校環境

個々人の成長発達による**自己の創造**と、  
集団(多様な他者)と協働した**社会の創造**を  
可能にする力の育成を保障

# 学び

## 個別最適な学び

- ・子どもの個性に応じた柔軟な指導(指導の個別化)
- ・子ども各自の興味関心に応じて指導を自己調整

↓ 一体的な推進 ↑

## 協働的な学び

- ・多様な他者と学び合う中で内容理解を深める
- ・他者の良さに気づき、他者理解を深める

## 望ましい学校環境

- 1 個人が獲得・達成する資質・能力を育める
- 2 人とのつながり・関係性を育める

## 変化する社会に必要な資質・能力を育むため

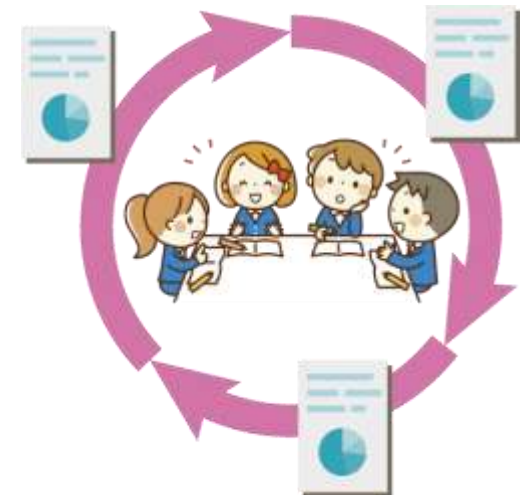
学校では、知識や技能の習得に加え、集団の中で思考力や表現力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要

実現のためには  
一定の学校規模を確保することが重要

# 04

## 望ましい学校環境とする上での留意点

- 1 変化に対する配慮
- 2 保護者を含めた地域住民の理解と協力



### 3 協議を進める際の留意事項

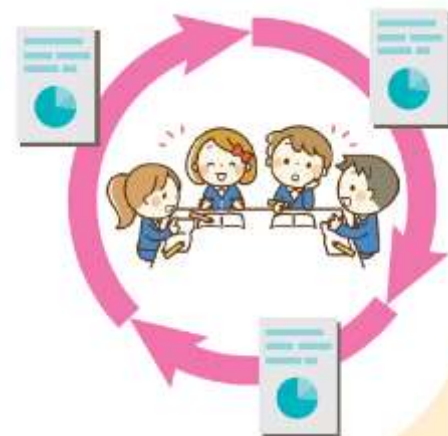
#### 1. 子ども達の教育環境への配慮

- ・ 主役は子ども達
- ・ 教育環境への適応等に配慮



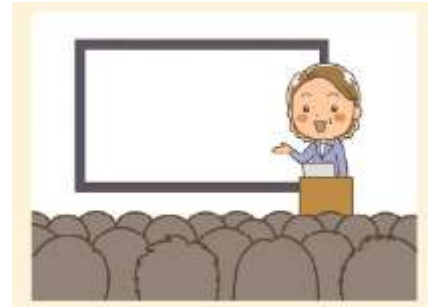
#### 2. 計画の策定

- ・ 持続的で豊かな教育環境
- ・ 常に「子どもの学びと育ち」  
に立ち戻る



### 3. 地域説明会の開催

- ・ 地域ごとの現状把握
- ・ 「子どもの学びと育ち」の場としての教育環境を理解



### 4. 地域協議会の設置

- ・ 地域住民が主体的に話し合う
- ・ 子ども達に持続的で適正な教育環境を実現



【令和5年度】

北上市立  
学校適正  
配置の在  
り方検討  
委員会

きたかみ  
の未来を  
創る教育  
のあり方

北上市教育  
委員会

【令和6年度～】

市民

参加

〇〇地域協議会

結果報告

情報提供等支援

北上市立小中学校  
適正配置基本計画  
策定検討委員会

説明会

パブコメ

パブコメ報告

北上市  
教育委  
員会

素案

北上市立学校適正配置基本計画

## 留意点まとめ

- 1 長期にわたって子ども達が最適な教育環境の中で学び・育つことができる
- 2 「子どもの学びと育ち」に立ち戻りながら計画を策定する
- 3 地域住民の理解を深める地域説明会の開催
- 4 保護者を含めた地域住民が主体となり、方向性を出す地域協議会の設置



# 「子どもの最善の利益」

ご清聴ありがとうございました



# きたかみの 未来を創る 教育のあり方

質問タイム



# きたかみの 未来を創る 教育のあり方

## 閉会

アンケートの回答は  
市ホームページに  
掲載します

アンケートに  
ご協力下さい

